



## 株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5683-5111(代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
お願い	当社では、株主名簿作成・更新事務の一切を上記名義書換代理人に委託しております。お手数でも住所変更等の際は、名義書換代理人までご通知くださいますようお願い申し上げます。なお、(財)証券保管振替機構をご利用の場合は、お取引の証券会社までお問合せください。

第29期

# 事業報告書

平成13年4月1日から平成14年3月31日まで



株式会社 レオパレス21



## 株主の みなさまへ



株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。

当社の第29期（平成13年4月1日から平成14年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

おかげさまで、当期の業績は順調に推移し、売上高、経常利益とも過去最高の実績を残すことができました。しかしながら、未だ繰越欠損金となっていますことから、誠に遺憾ながら当期の配当につきましては、引き続き見送らせていただくことになりました。株主の皆様には、誠に申し訳なくお詫び申し上げる次第でございます。

なお、繰越欠損金につきましては、このたび開催の第29期定時株主総会において法定準備金の減少についてご承認をいただきましたことにより、単体・連結ともに解消することができました。

当社は「賃貸あつてのアパート経営」を標榜しながら業績向上をおし進めておりますが、種々の経営施策が功を奏し、経営基盤は着実に固まりつつあります。常に時代を先取りした諸施策を講じつつ、このシンプルでかつ重要な基本方針をさらに貫徹して、当社30周年にあたる翌期（平成15年3月期）には、業績面においても財務内容面においても、全ての面で一つの区切りをつけられる成果を残すべく、全社を挙げて社業に邁進する所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年6月

代表取締役社長 **深山 格助**

## 目次

株主のみなさまへ	1
営業の概況	2
財務諸表	6
連結財務諸表	8
T O P I C S	10
営業支店網	14
株式の状況	16
会社の概況	17
役員	17

# ◆◆ 営業の概況

## 1 営業の経過および成果

当期のわが国経済は、IT関連企業等の急激な収益悪化に伴う設備投資の落ち込みや、所得・雇用環境の悪化を背景とした個人消費の低迷などにより、期を通して厳しい状況のまま推移いたしました。

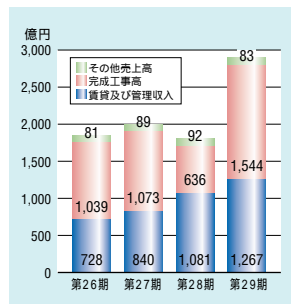
住宅投資については、貸家が前年度比5.8%増加の442千戸となったものの、持家・分譲住宅が減少し、平成13年度の住宅着工戸数は前年度比3.3%減少の1,173千戸となり、2年連続して前年度を下回りました。

このような状況下において、当期の業績は、前期比大幅な増収増益となり、売上高・経常利益ともに過去最高を達成することができました。

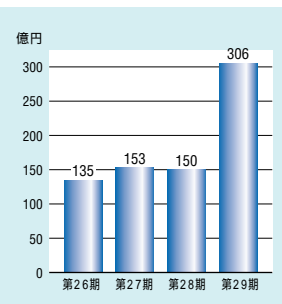
アパート建築請負部門においては、当期末111店となり全国的な営業店舗網の確立による積極的な営業活動が功を奏し、また、賃貸部門においても、管理戸数の増加とともに、引き続き「マンスリーレオパレス フラット」が順調に推移いたしました。

この結果、当期の売上高は2,895億62百万円（前期比59.9%増）、経常利益は、売上高増加により営業店舗拡充等に伴う経費増加を吸収して306億13百万円（前期比2.0倍）、また、税引後の当期利益は158億31百万円（前期は396億44百万円の損失）となりました。

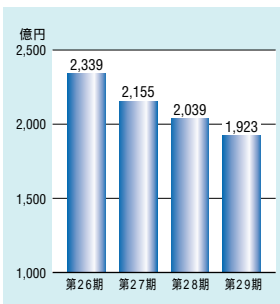
売上高の推移



経常利益の推移



借入金の推移



## 2 営業成績および財産状況の推移

区 分	第26期 平成10年度	第27期 平成11年度	第28期 平成12年度	第29期 平成13年度
売 上 高(百万円)	184,916	200,378	181,078	289,562
経 常 利 益(百万円)	13,512	15,354	15,060	30,613
当期利益(損失)(百万円)	15,643	2,412	39,644	15,831
1株当たり当期利益(損失)(円)	242.76	34.70	371.40	130.88
総 資 産(百万円)	368,992	375,478	316,556	340,183
純 資 産(百万円)	42,264	62,736	24,496	44,083

(注) 1. 1株当たり当期利益(損失)は、期中平均発行済株式総数(第29期は自己株式控除後)に基づき算出したものであります。  
2. 第29期については、「1. 営業の経過および成果」をご参照下さい。

## 3 部門別売上高

(単位 百万円)

区 分	第28期 平成12年度 (前期)		第29期 平成13年度 (当期)		前期比 (は減)
	金 額	構成比率	金 額	構成比率	
請 負 事 業	63,699	35.2%	154,432	53.3%	142.4%
賃 貸 事 業	108,152	59.7%	126,785	43.8%	17.2%
そ の 他	9,226	5.1%	8,344	2.9%	9.6%
合 計	181,078	100.0%	289,562	100.0%	59.9%

#### 4 今後の経営施策・方針

当社は、最重要課題として企業グループの財務内容の改善、具体的には、繰越欠損金の早期解消のため、全社一丸となって業績向上に取り組んでまいりました。当期も、ほぼ計画通りの業績を残すことができましたが、さらに、このたび開催の第29期定時株主総会において法定準備金の減少について、ご承認を得たことにより単体・連結ともに繰越欠損金の解消を実現することができました。

おかげさまで、アパート建築請負部門において受注高は順調に推移しており、賃貸部門においても「マンスリーレオパレス フラット」は引き続き順調な実績を維持しております。従って、今後も増収増益基調が維持できるものと確信しております。

なお、当期は不動産証券化ビジネスにも進出し、その第1弾として、SPC（特定目的会社）を使い当社所有のアパートを対象とした不動産小口証券化を平成13年8月に実施いたしました。不動産証券化については、新しいビジネスモデルが構築できると考え、今後も積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、収益力向上のため営業体制の強化はもちろん独創的な商品やサービスの提供開発により、業績向上に一段の経営努力を傾けてまいり所存であります。その取組みの一つとして、本格的なIT・インターネット時代の到来を迎え、アパート入居者の幅広いニーズに応えるため、入居者向けブロードバンド事業に進出すべく準備を進めております。

また、海外子会社で運営しているグアムのリゾート運営に関しましては、年々経営状態は改善され、運営収支は均衡していることから、グアム子会社の繰越欠損金につきましても、当社単体の収益体力で子会社支援処理を実施し、当期解消いたしました。前期から段階的に再開いたしました追加工事につきましても、具体的には、レオパレスリゾートの中心部に躯体のみ完成しておりますホテル等の内装工事とその周辺整備工事を数年かけて完成させる計画であります。当期はコンドミニアム1棟118室の内装工事（平成13年7月）と既に営業中のタモン湾に面したホテル「ウェスティン・リゾートグアム」に「セント・レオ・チャペル」の新設とスイートルーム10室の増設工事（平成13年11月）が完了し、稼働を開始いたしております。今後の計画につきましては、段階的かつ長期的視野に立った施設の充実を図ってまいり所存であります。

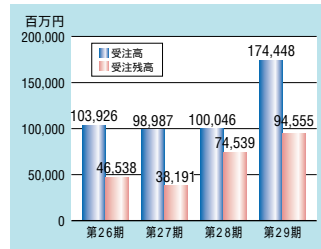
当社といたしましては、配当の実施は株主の皆様に対する最大の責務と考えております。今後とも、業績向上によるグループ全体の財務内容改善に努め、内部留保の充実を図りつつ、早期の復配実現に全力を傾けてまいり所存でございます。

#### (1) 請負事業部門

木質から鉄骨系プレハブ工法を中心に、時代のニーズを的確にとらえたアパートを全国に供給しておりますが、当期は、耐久性・防音断熱性に優れた新商品「ハイブリッド」（スチール2×4工法）を平成13年7月に投入し、積極的な受注営業活動の展開と建築工程管理を徹底した結果、完成工事高は1,544億32百万円（前期比2.4倍）となりました。

また、当期末受注残高は945億55百万円（前期末比26.9%増）を確保しております。

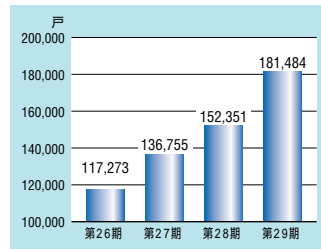
請負事業《受注状況推移》



#### (2) 賃貸事業部門

「一括借上げシステム」や「レオパレス会員制入居システム」及び「家具付月極めレンタルルームシステム（マンスリーレオパレス）」等による当社独自のアパート運営・管理のトータルシステムを柱とする賃貸部門は、当期末181千戸（前期末比29千戸増）となった管理戸数の増加とともに、賃貸部門の中心商品にまで成長した「マンスリーレオパレス」を、さらに入居者のニーズに対応し、平成14年2月従来の月単位に週単位の料金システムを加えた「マンスリーレオパレス フラット」に変更し、順調な伸びを示しております。この結果、賃貸及び管理収入は1,267億85百万円（前期比17.2%増）となりました。

賃貸事業《管理戸数推移》



#### (3) その他部門

その他部門として、物品販売等の諸サービスを行っているほか、不動産担保貸付等の貸付金、戸建住宅等の販売及び札幌・名古屋のホテル事業を行っております。

アパート入居者等への付加サービスである物品販売等諸サービスにつきましては、賃貸部門の重要な周辺事業として位置付けており、売上高は増加しております。

一方、貸付金につきましては、平成4年3月期以降主として既存貸付金の回収及び債権管理業務のみを行っており、売上高は減少しております。

要約貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	第28期	第29期	科 目	第28期	第29期
	(平成13年3月31日 現在)	(平成14年3月31日 現在)		(平成13年3月31日 現在)	(平成14年3月31日 現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	83,762	109,775	<b>流動負債</b>	109,425	132,266
現金預金	23,875	39,056	買掛金及び工事未払金	33,862	49,830
売掛金及び完成工事未収入金	11,329	13,628	短期借入金	42,438	48,533
営業貸付金	28,531	23,548	未払金及び未払費用	7,321	6,674
販売用不動産	1,802	4,005	未払法人税等	1,135	58
未成工事支出金	6,888	4,856	前受金	6,042	7,940
原材料及び貯蔵品	261	272	未成工事受入金	14,961	14,806
繰延税金資産	308	3,805	その他	3,664	4,423
未収入金	10,658	17,811	<b>固定負債</b>	182,634	163,833
その他	2,035	4,456	転換社債	4,280	
貸倒引当金	1,930	1,667	長期借入金	157,279	143,776
<b>固定資産</b>	232,794	230,408	預り敷金保証金	18,108	18,955
<b>有形固定資産</b>	127,231	128,622	その他	2,966	1,101
建物	31,491	31,701	<b>負債合計</b>	292,059	296,099
土地	92,695	94,836			
建設仮勘定	1,984	893	<b>(資本の部)</b>		
その他	1,060	1,190	<b>資本金</b>	31,134	33,274
<b>無形固定資産</b>	641	539	<b>法定準備金</b>	30,583	32,723
<b>投資等</b>	104,920	101,246	資本準備金	30,386	32,526
投資有価証券	4,094	4,299	利益準備金	196	196
子会社株式	68,111	68,111	<b>欠損金</b>	37,405	21,574
長期貸付金	48,613	19,780	当期未処理損失	37,405	21,574
固定化営業債権	18,647	18,644	(うち当期利益・当期損失)	(39,644)	(15,831)
繰延税金資産	15,859	97	<b>評価差額金</b>	183	296
その他	4,725	10,212	<b>自己株式</b>		42
貸倒引当金	55,130	19,900	<b>資本合計</b>	24,496	44,083
<b>資産合計</b>	316,556	340,183	<b>負債・資本合計</b>	316,556	340,183

要約損益計算書

(単位 百万円)

科 目		第28期	第29期
		(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
経常損益の部	営業収益	181,078	289,562
	営業費用	164,168	256,048
	売上費及び一般管理費	133,930	214,966
	売上及び一般管理費	30,237	41,082
	<b>営業利益</b>	16,910	33,514
営業外損益の部	営業外収益	1,452	913
	営業外費用	43	43
	受取利息	1,409	870
	受取の他	3,302	3,814
	支払利息	3,010	3,300
	支払の他	292	514
	<b>経常利益</b>	15,060	30,613
特別損益の部	特別利益	9,144	5,054
	特別損失	117	54
	貸倒引当金の戻入	9,026	5,000
	債権免除	78,696	7,098
	固定資産売却損	2,706	1,642
	投資有価証券評価損	250	2,385
	会社株式評価損	8,739	
	引当金繰入	45,740	2,914
	貸倒引当金の戻入	20,902	
	その他	357	157
<b>税引前当期利益(税引前当期損失)</b>		54,491	28,568
法人税、住民税及び事業税		1,147	119
法人税等更正額			190
法人税等調整額		15,994	12,426
<b>当期利益(当期損失)</b>		39,644	15,831
<b>前期繰越利益(前期繰越損失)</b>		2,238	37,405
<b>当期末処理損失</b>		37,405	21,574

損失処理

(単位 円)

項 目	第28期	第29期
	(平成13年6月28日)	(平成14年6月27日)
<b>当期末処理損失</b>	37,405,280,672	21,574,177,336
これを次のとおり処理します。		
損失処理額		
法定準備金取崩額		196,725,600
利益準備金取崩額		21,377,451,736
資本準備金取崩額		
<b>次期繰越損失</b>	37,405,280,672	0

# ◆◆ 連結財務諸表

## 要約連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	第28期	第29期	科 目	第28期	第29期
	(平成13年3月31日 現在)	(平成14年3月31日 現在)		(平成13年3月31日 現在)	(平成14年3月31日 現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	111,161	140,701	<b>流動負債</b>	112,973	135,914
現金預金	24,678	40,021	買掛金及び工事未払金	34,049	50,049
売掛金及び完成工事未収入金	11,827	13,998	短期借入金	42,776	48,806
営業貸付金	28,531	23,548	未払金及び未払費用	9,878	9,225
販売用不動産	27,801	33,356	未払法人税等	1,135	60
未成工事支出金	6,888	4,856	未成工事受入金	14,961	14,806
その他の棚卸資産	439	487	その他	10,170	12,966
繰延税金資産	308	3,805	<b>固定負債</b>	212,679	187,380
その他	12,638	22,317	転換社債	4,280	
貸倒引当金	1,952	1,690	長期借入金	166,773	148,452
<b>固定資産</b>	231,878	232,235	長期未払金	22,855	18,934
<b>有形固定資産</b>	197,244	206,510	預り敷金保証金	18,108	18,955
建物及び構築物	74,328	76,933	その他	663	1,038
土地	95,781	98,184	<b>負債合計</b>	325,652	323,294
建設仮勘定	25,537	29,633	<b>(少数株主持分)</b>		4,900
その他	1,596	1,758	<b>(資本の部)</b>		
<b>無形固定資産</b>	910	551	<b>資本金</b>	31,134	33,274
<b>投資等</b>	33,722	25,173	<b>資本準備金</b>	30,386	32,526
投資有価証券	4,339	4,254	<b>欠損金</b>	40,018	21,254
長期貸付金	2,217	4,363	(うち当期純利益)	(32,843)	(18,763)
固定化営業債権	18,647	18,644	<b>評価差額金</b>	183	296
繰延税金資産	15,859	97	為替換算調整勘定	4,275	552
その他	8,235	14,583	<b>自己株式</b>	24	42
貸倒引当金	15,577	16,771	<b>資本合計</b>	17,386	44,759
<b>繰延資産</b>		17	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	343,039	372,954
<b>資産合計</b>	343,039	372,954			

## 要約連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目		第28期	第29期
		(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)	(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)
経常損益の部	営業収益	186,991	295,683
	営業費用	170,596	263,011
営業外損益の部	営業外収益	139,398	220,806
	営業外費用	31,197	42,204
<b>営業利益</b>		16,394	32,672
特別損益の部	特別利益	1,625	3,977
	特別費用	46	48
<b>経常利益</b>		13,176	32,255
特別損益の部	特別利益	17,770	5,055
	特別費用	117	55
<b>経常利益</b>		9,026	5,000
特別損益の部	特別利益	8,625	8,625
	特別費用	13,121	5,806
<b>経常利益</b>		5,736	1,675
特別損益の部	特別利益	250	2,675
	特別費用	6,647	1,298
<b>経常利益</b>		129	157
<b>経常利益</b>		357	157
<b>税金等調整前当期純利益</b>		17,826	31,505
<b>法人税、住民税及び人</b>		1,078	124
<b>法人税、住民税及び人</b>		190	190
<b>法人税、住民税及び人</b>		16,095	12,426
<b>法人税、住民税及び人</b>		32,843	18,763

## 主な子会社

会 社 名	住 所	資本金	主要な事業内容	当社の 持株比率
MDI Guam Corporation	米国信託統治領 グアム	26,000千米ドル	ホテルリゾート事業	100 %
Trianon Palace Hotel De Versailles S.A.	フランス ベルサイユ	5,442千ユーロ	ホテル業	100
(株)ミヤマトラベル	東京都中野区 本町	30百万円	旅行業	100

# Topics 1

## 「マンスリーレオパレス」の進化形 「マンスリーレオパレス フラット」新登場!

「敷金・礼金・保証人不要」「家具・家電付き」「一ヶ月単位でのご利用」といった画期的システムで人気を博してきた「マンスリーレオパレス」が平成14年2月より「マンスリーレオパレス フラット」として生まれ変わりました。従来の画期的システムはそのままに、短期利用者に向けて「パーウィーク（週単位の料金体系）」システムを導入しました。これにより最低2週間から週単位でのご利用も可能になり、よりフレキシブルなご活用が可能になりました。月単位でも週単位でも、目的に合わせて自由に選べる。それが「マンスリーレオパレス フラット」の大きな強みです。



## 都市型高層マンション「レオパレスFlat」シリーズ誕生!

今年の3月に札幌（すすき野）、6月に東京（八重洲）にオープンした「レオパレス Flat」は主要都市の一等地に建設される都市型高層マンション。マンスリーレオパレスの好調な売れ行きを背景に、需要の多い都市部への管理物件拡充を目的として建設しています。ビジネスマンの長期出張や会社研修などのご利用は年々増えており、好立地にあり、極めて自由度の高いご利用を可能にする「レオパレス Flat」シリーズのニーズは今後大きな伸びをみせていくものと考えております。当社ではこの「レオパレス Flat」を含めた形での不動産証券化を計画しており、近く「レオパレス・リートⅡ」として販売を予定しております。



3月にオープンした  
「レオパレスFlat札幌」

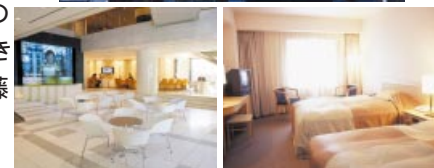
## ホームページ上に株主投資家の皆様向け IR情報ページをオープン!

今年の2月より、当社の公式ホームページ上で株主投資家の皆様に向けたIR情報ページとして「株主投資家の皆様へ」を新たにオープン。会社紹介や財務情報、株式情報の公開など、充実した内容が盛り込まれております。ぜひ一度ご覧ください。



## ホテル一体型の「レオパレスワールド名古屋」オープン!

ゆったりとしたスペースに情報発信の特大マルチビジョン、インターネットコーナーなど先鋭的な不動産店舗として人気を博している「レオパレスワールド」が新宿、大阪、福岡に続いて、名古屋に新しくオープンしました。この新しく誕生した「レオパレスワールド名古屋」は当社の営業オフィスとホテルを組み合わせ合わせた複合施設。1階から3階までを当社の名古屋支店、4階から上をホテルとしています。ホテルと一体型にすることでレオパレス21のブランド強化や当社物件の利用促進に繋がることを期待しております。ホテルは「マンスリーレオパレスフラット」としてや、デイリーによるご利用も可能。従来のシティホテルとは異なり、賃貸住宅とホテルの融合を図った全く新しい宿泊施設として運営していきます。今後、同様の施設を札幌、旭川、新潟、岡山、藤沢などでも展開予定です。



# Topics 2

## ブロードバンド事業「LEO NET」スタート!

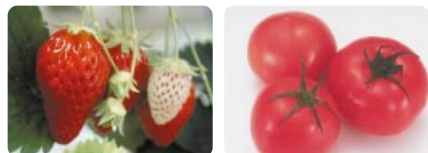
ブロードバンド回線を使って、各部屋にデジタルコンテンツを配信するブロードバンド事業が今年の8月より本格的始動。デジタルレンタルビデオ、CS放送、インターネットなど次代の映像コミュニケーションを実現させます。当社のアパートを利用する多くは単身者の若者であり、ターゲットを的確に見据えた上で、サービス強化を図ってまいります。当面は管理物件3~4万室を対象に導入しますが、将来的には全室を対象に大々的に供給してまいります。約19万室を一元管理している当社から可能な新規事業です。



## オーナー様との結びつきの中で生まれた農業フランチャイズ事業!

アパート経営を通じて当社とパートナーシップを結んでいるオーナー様の約9割は農家、元農家の方々です。そこで、オーナーの皆様方との結びつき、信頼関係を深める目的で始めたのが「農業フランチャイズ事業」です。この事業は当社がオーナー様の所有されている農地に農業生産プラント(温室)を建設し、種苗の販売、生産指導・管理、農作物の一括買取等を行うシステムです。

レオパレス21がオーナー様の農業経営を全面的にバックアップいたします。



## レオパレス新CM好評オンエア中!

西村雅彦さんと田中麗奈さんを起用し、一人暮らしを満喫する娘とそれを心配する父の姿をコミカルに描く新CMがオンエア中。「月刊CM好感度調査(CM DATABANK / CM総合研究所)」で業界内4ヶ月連続1位を記録するなど、好感の持てるCMとして人気を博しております。また、レオパレスリゾート・グアムのCMも新しくオンエア。こちらはキャッチーなメロディが耳に残る賑やかなCMになっております。



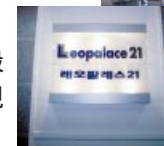
レオパレス  
リゾート・  
グアムCM



マンスリー  
レオパレスCM

## レオパレスセンター ソウルがオープン!

今年の4月にレオパレス21の海外進出第一弾となる「レオパレスセンター ソウル」が韓国のソウル市内にオープン。近年、増加傾向の著しい韓国人留学生やビジネスマンなどの入居需要に応えます。インターネットの物件検索ページには韓国語による案内を表記。韓国に居ながらにして、入居手続きを行うことも可能にしています。この拠点新設により、グアムのレオパレス・リゾートへの旅行客獲得も視野に入れております。

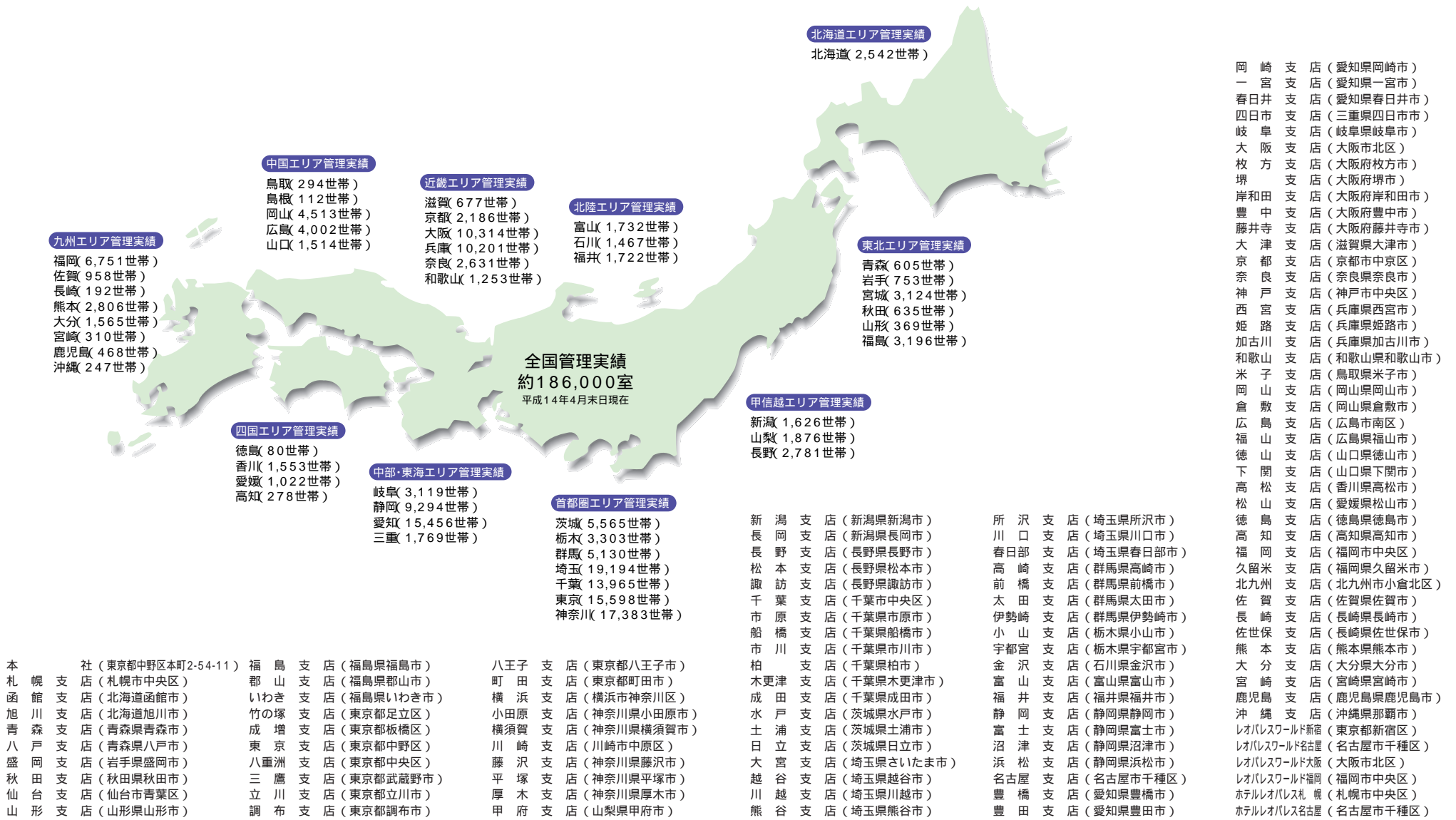


## 進化を続けるレオパレスリゾート・グアム!

当社がグアムに展開している一大リゾート「レオパレスリゾート・グアム」は年々施設充実を図り、進化を続けております。今年は湖に隣接する中核ホテルの完成に向けた内装工事にも着手し、来年秋のオープンを目指しております。また広大な敷地を活用して各種スポーツグラウンドを完成させ、スポーツランドとしての開発も着々と進行しています。





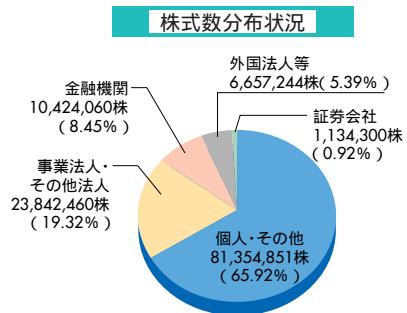
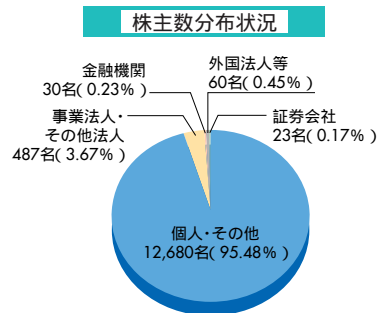


## 株式の状況 (平成14年3月31日現在)

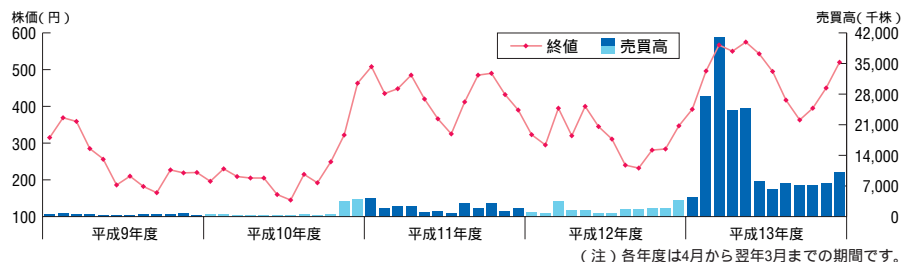
◆会社が発行する株式の総数	250,000,000 株
◆自己株式数	109,107 株
◆発行済株式の総数	123,412,915 株
◆株主数	13,280 名
◆大株主	

株主名	所有株式数	持株比率
深山祐助	18,950 千株	15.35 %
株式会社ケイディア	10,000	8.10
トヨーカネツ株式会社	3,045	2.46
野口孝行	1,529	1.23
株式会社あさひ銀行	1,377	1.11
株式会社三井住友銀行	1,314	1.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,285	1.04

### ◆所有者別分布状況



### ◆株価および株式売買高の推移



## 会社の概況 (平成14年3月31日現在)

社名	株式会社レオパレス21 (登録簿上の商号 株式会社レオパレス二十一) LEOPALACE 21 CORPORATION
本社所在地	東京都中野区本町二丁目54番11号
設立	昭和48年8月17日
資本金	33,274,346,825円
従業員数	3,489名
主要な事業内容	①建築工事請負 ②不動産の賃貸 ③不動産分譲 ④不動産を担保とする貸付、その他の金銭貸付 ⑤クラブ会員券募集に関する業務 ⑥ホテル、スポーツクラブの経営
登録・免許	宅地建物取引業者 建設大臣免許(7)第2846号 特定建設業者 建設大臣許可(特10)第11502号 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36122号 貸金業者 関東財務局長登録(6)第00581号

## 役員 (平成14年6月27日現在)

代表取締役社長	深山祐助	取締役	篠崎敬一郎
取締役副社長	谷口忠	取締役	木村鋼
取締役副社長	野口孝行	取締役	坂口康英
取締役副社長	大場富夫	取締役	三池嘉一
専務取締役	北川芳輝	取締役	阿部聡
常務取締役	深山英世	常勤監査役	香田義隆
常務取締役	笹原邦昭	常勤監査役	古畑克巳
常務取締役	西田次郎	監査役	土橋榮一
常務取締役	上原義則		